

科目名 (Eng)		プログラミング演習 (Advanced Programming)								
担当教員		湯川 崇								
対象学年等	学科・専攻	学年	授業期間	区分	単位数	時間数	分野	形態	学修単位科目	
	コミュニケーション 情報学科	4	後期	必修	2	30	専門	C	○	
目標基準 との対応		福島高専の教育目標との対応: (B-3), (B-4), (D-2), (E-1) 卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応: 2), 5), JABEE基準1 (1)との対応: c, d(3), d(4), g.								
授業の概要と方針		C言語を用いて応用的なプログラムを作成・実行し、プログラミングの応用技術を習得する。								
到達目標		①仕様に基づいて、簡単なプログラムの設計ができること。 ②データ構造について理解し、構造体を用いたプログラムが作成できること。								
授業計画										
	週	授業項目	理解すべき内容				事前学習			
後期	16	データ構造の復習(1)	1次元配列				プログラミング基礎の復習			
	17	データ構造の復習(2)	2次元配列				プログラミング基礎の復習			
	18	データ構造の応用(1)	配列の応用				プログラミング基礎の復習			
	19	データ構造の応用(2)	構造体				プログラミング基礎の復習			
	20	データ構造の応用(3)	構造体				プログラミング基礎の復習			
	21	課題演習(1)	仕様書の作成				プログラミング基礎の復習			
	22	課題演習(2)	プログラミング				プログラミング基礎の復習			
	23	課題演習(3)	実行テスト				プログラミング基礎の復習			
	24	文字列の処理(1)	文字列の定義				プログラミング基礎の復習			
	25	文字列の処理(2)	文字列関数 文字列ステートメント				プログラミング基礎の復習			
	26	グラフィックス(1)	図形の描画、座標系				プログラミング基礎の復習			
	27	グラフィックス(2)	描画メソッド				プログラミング基礎の復習			
	28	演習課題(4)	仕様の作成				プログラミング基礎の復習			
	29	演習課題(5)	プログラミング				プログラミング基礎の復習			
30	演習課題(6)	実行テスト				プログラミング基礎の復習				
試験について		後期期末試験は実施しない。								
評価方法		課題50%、レポート50%で評価する。								
教科書		文法からはじめるプログラミング言語Microsoft Visual C#入門、WINGSプロジェクト高江 賢、日経BP								
参考書		エンジニアのためのプログラミング入門、-VB.NETによるプログラミングの基礎-、大槻正伸、電気書院 実習 Visual Basic.NET -だれでもわかるプログラミング-								
関連科目		プログラミング基礎								
履修上の注意		設計を基に実際にプログラムを作成し、実行することによって検証する習慣を身に付けてほしい。自学自習の確認方法:授業の予習或いは復習などの課題プリントを配布し、定期的に提出を求める。								